

第2回ビジネスジェットの推進に関する委員会

日時：平成23年2月10日（木）10：00～12：00

場所：国土交通省11階特別会議室

主なご意見：

（総論）

- 日本から金が引いており、このままではジャパンパッシングというよりはジャパンナッシングになってしまう。
- 政治も経済もトップの方々が日本にいつでも来やすい環境を整えていくことが、日本の経済の再生には必要。
- ビジネスジェットの受入について、具体的な経済効果を国民の皆様に分かりやすい形で示していくことが重要ではないか。
- ビジネスジェットの利用者はビジネスを持ってきているので、経済に寄与しているはずだが、どの程度か測るのは難しいと思われる。

（手続き）

- 成田だけではなく、国全体としてワンストップで、かつ、24時間すぐサービスができるようなことを考えていく必要があるのではないか。
- 地方空港における申請手続きの簡素化が必要ではないか。
- C I Qについては、国民の安全・安心の確保を前提とした上で、簡素化・合理化を進めていくことが必要ではないか。

(PR)

- 日本におけるビジネスジェットの印象を改善するために、ビジネスジェット利用者層をプロファイリングした上で、マーケティングを行うべきでは。

(他空港の活用)

- 成田の専用ターミナルが開設されることにあわせて、成田から地方空港など国内間におけるビジネスジェットの利用の促進により、地方空港の活性度を高めていくことも今後は必要ではないか。
- 将来、頻繁に地方空港が活用されていくためには、国内に保有機数が増え、業者が増えていくことが必要。
- まだ日本には底力があると思う。1日も早く、成田空港だけでなく全国の空港で対応していく必要がある。
- 現在、夜間に限定されている中部空港の第2C I Qを昼間もビジネスジェットに活用することはできないか。

(その他)

- 海外の事業者の方々がどのように考えているかについて、ヒアリングをする機会を設けていきたい。
- 本日いただいた意見をもとに、成田における推進策を基本に、今春を目処としてとりまとめていきたい。